

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-213522

(43) 公開日 平成9年(1997)8月15日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 1 F 7/02

識別記号

庁内整理番号

F I

H 0 1 F 7/02

技術表示箇所

F

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平8-40334

(22) 出願日

平成8年(1996)2月5日

(71) 出願人 590003618

古川 社良

北埼玉郡騎西町大字騎西897番地77

(72) 発明者 古川 社良

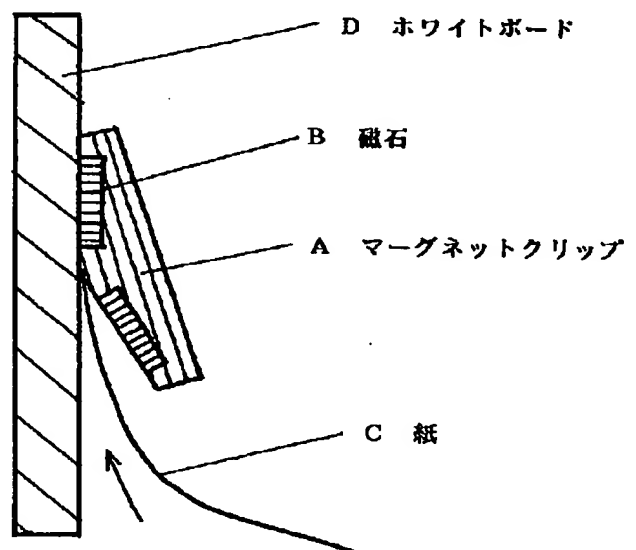
北埼玉郡騎西町大字騎西897番地77

(54) 【発明の名称】 鈍角つき接着面のマージネットクリップ

(57) 【要約】

【目的】 従来の両手で行ってる紙の付け外しを片手で行える様にし、扱いやすく、素早い作業が行えるマージネットクリップにする事を目的としている。

【構成】 マージネットクリップで紙を押さえる時に、ホワイトボードなどに接着する面に鈍角が付いており、傾きによって接着する面をかえる事が出来る。



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 マグネットクリップの紙などを押さえる接着面に鈍角をつけた、鈍角つき接着面のマグネットクリップ。

【請求項2】 磁石を2つ付けた請求項1記載の鈍角つき接着面のマグネットクリップ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、冷蔵庫やホワイトボードや黒板などに、紙などを押さえて付けるマグネットクリップに関する。

【0002】

【従来の技術】従来のマグネットクリップにおいて紙の付け外しは、ホワイトボードなどからマグネットクリップを外して行い、両手を使って行う作業である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の両手で行ってる紙の付け外しを片手で行える様にし、扱いやすく、素早い作業が行える様にする事を目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために本発明のマグネットクリップにおいては、ホワイトボードなどに接着する面に鈍角が付いており、角度によって接着する面が2つに分かれている。

【0005】

【作用】上記の様に構成されたマグネットクリップは、少し傾きを変えるだけで接着面を変えて、紙を押さえる事が出来る。又、ういてる面より紙を差し込む事が出来る。

【0006】

【実施例】実施例について図面を参照して説明すると、(図1)においてホワイトボード(D)とマグネットクリップ(A)のすき間に、紙(C)を矢印の方向に差し込むと、紙(C)がくい込み手を離しても落ちない、更にしっかり固定するために(図2)マグネットクリップ(A)の傾きを変える事で、紙(C)を固定する事が出来る。

【0007】(図3)固定した紙(C)を外す時は、ホワイトボード(D)に向かって手前に紙(C)を引くだけで簡単に外す事が出来る。又、その様にして外す事でマグネットクリップ(C)の傾きが変わり、次の紙を同じように差し込める状態になる(図1)。

【0008】(図4)磁石が一つでも鈍角がついてれば同じ様な使い方が出来る。

【0009】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので、紙の付け外しが片手で行え、素早く簡単に扱う事が出来る。

## 【図面の簡単な説明】

20 【図1】紙の差し込みの実施例を示す縦断面図である。

【図2】紙の押さえつけの実施例を示す縦断面図である。

【図3】紙の外しかたの実施例を示す縦断面図である。

【図4】磁石を1つで作った実施例を示す立体面図である。

## 【符号の説明】

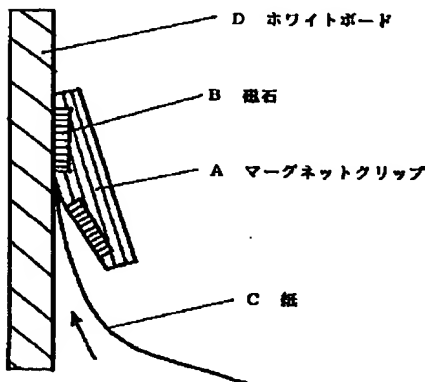
A マグネットクリップ

B 磁石

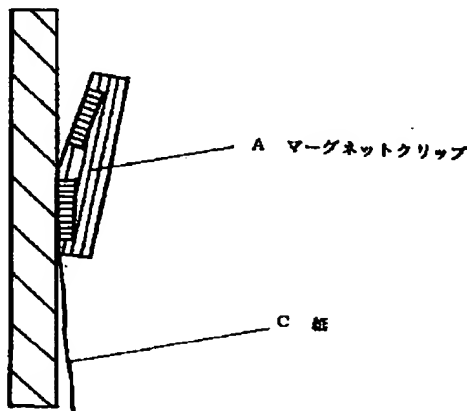
C 紙

30 D ホワイトボード

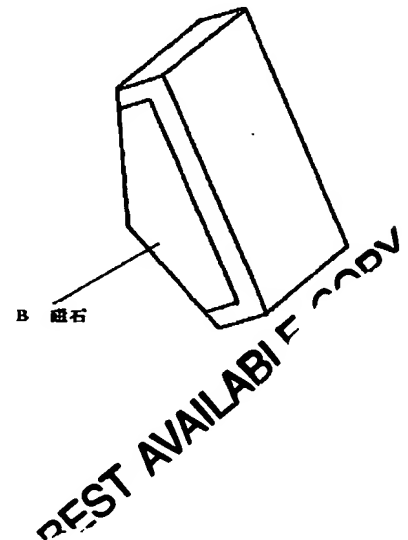
【図1】



【図2】

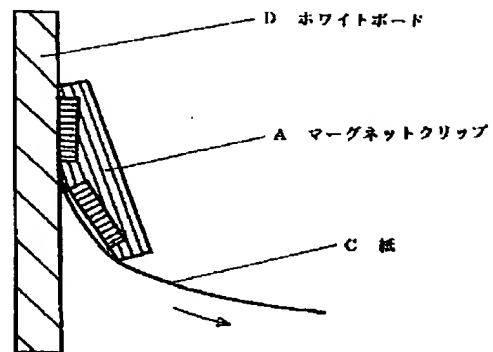


【図4】



REST AVAILABLE COPY

【図3】



BEST AVAILABLE COPY